

埼玉県立大学ダイバーシティ推進基本方針

埼玉県立大学は、これまで陶冶、進取、創発を基本理念とし、地域の保健医療福祉の向上に資する教育と研究に取り組んできました。今後、社会の変化に応じたさらなる発展のためには基本理念を基盤として多様な価値観を尊重し、柔軟な大学であることが求められます。性別、障害、国籍、宗教、文化、性的少数者であることなどにかかわらず、多様な背景を持つひとりひとりの学生、教職員の能力を最大限に活かし、共に成長できる環境をつくることをめざし、ダイバーシティ推進のため基本方針を定めます。

<意識啓発>

学生・教職員が持つ多様な背景の理解を促進し、ひとりひとりが尊重されるキャンパスの構築に向けて啓発を進めます。

<教育支援>

次世代の社会で活躍できる人材の育成のため、入学、教育活動、就職支援において多様性の視点を持った支援を行います。

<職場環境>

教職員の背景を問わず、すべての教職員が力を発揮でき、キャリア開発できる組織運営に努めます。

<ワークライフバランス>

生活と勉学や仕事の両方を大切にする生き方を推進し、すべての構成員が安心して学び、働くことができる体制を整備します。